

整形外科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

本プログラムは、熊本大学医学部附属病院整形外科と済生会熊本病院・熊本赤十字病院・国立病院機構熊本医療センター・熊本市市民病院・熊本中央病院・熊本労災病院・水俣市立総合医療センター・公立玉名中央病院における各整形外科の8つの関連教育施設で構成されています。これらの関連教育施設は、いずれも6-8名のスタッフを有する日本整形外科学会認定研修施設であり、整形外科各分野での専門医も多数揃い、充実した研修を行うことができます。

本プログラムは、出身大学や初期研修施設に関わらず平等に運用され、また、各人の希望に応じて多彩な進路を選択できることが特徴です。研修実施責任者は、本プログラムを構成する関連教育施設の代表者と研修プログラム委員会を組織し、本プログラムの管理運営に関する諸事項につき定期的に協議を行うとともに、常時プログラム参加施設と緊密に連絡を取り、研修教育の一貫性と内容の充実をはかっています。

2. 研修目標

【一般目標】

本プログラムの一般目標は、高度な専門的知識、診断能力、治療技術を持つ整形外科専門医を養成することである。

【行動目標】

基本的な診察法や検査法、運動器疾患の治療体系、手術前後の管理、基本的な手術手技やリハビリテーションなど整形外科医として必要な技能や知識の修得し、日本整形外科学会卒業研修ガイドラインで定められた到達目標に達することを行動目標とする。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学院	留学				
B	大学病院	関連施設	大学院	関連施設				
C	大学病院	関連施設	大学院	大学病院				
D	大学病院	関連施設	関連施設	関連施設	大学病院			
E	関連施設	大学病院	関連施設	関連施設	関連施設			

上記スケジュール以外でも、多彩な進路を選択可能である。

4. 評価

1年ごとに異なる4施設をローテートし、必要とされる全ての分野にわたる研修を行います。当該年度の研修内容を整形外科研修記録に記録し、各研修施設責任者の評価を受け、研修プログラム委員会にて各個人より提出された前年度の研修内容について協議を行い、次年度以降のローテーションや研修内容について討議し決定します。

この協議結果を踏まえ、年度末に教授による個人面談が行われ、本人の希望に基づき次年度の研修施設、内容に対し指導が行われます。

5. 募集人員

20名

6. 実施責任者

水田博志 (熊本大学大学院医学薬学研究部運動骨格病態学分野・教授)

7. 指導責任者

熊本大学医学部附属病院	水田博志(科長)
熊本赤十字病院整形外科	中島 伸一(診療部長)
国立病院機構熊本医療センター整形外科	野村 一俊(統括診療部長)
熊本市市民病院整形外科	赤崎 幸二(診療部長)
熊本中央病院整形外科	岡嶋啓一郎(部長)
熊本労災病院整形外科	池田 天史(部長)
水俣市立総合医療センター整形外科	山内 達朗(副院長)
公立玉名中央病院整形外科	中野 哲雄(副院長)

8. 関連施設、学会認定状況

熊本大学医学部附属病院整形外科	日整会、リウマチ学会、リハ学会
済生会熊本病院整形外科	日整会、リウマチ学会
熊本赤十字病院整形外科	日整会、リウマチ学会、リハ学会
国立病院機構熊本医療センター整形外科	日整会、リウマチ学会
熊本市市民病院整形外科	日整会、リウマチ学会、リハ学会
熊本中央病院整形外科	日整会
熊本労災病院整形外科	日整会
水俣市立総合医療センター整形外科	日整会
公立玉名中央病院整形外科	日整会、リウマチ学会、リハ学会

(日整会:日本整形外科学会認定研修施設、リウマチ学会:日本リウマチ学会認定教育施設
リハ学会:日本リハビリテーション医学会研修施設)

9. その他

[1] 専門医の取得

研修修了医師のほとんどが、最短の年限(医師免許取得後6年)で日本整形外科学会専門医の資格を取得しています。さらに、多くの医師が、日本体育協会公認スポーツドクター、日本整形外科学会スポーツ医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・臨床認定医、日本脊椎・脊髄病学会認定脊髄外科指導医など、subspecialityでの専門医資格を取得しています。

[2] 留学

希望に応じて国内外への留学が可能です。最近の主な海外留学先は、Mayo Clinic、Medical College of Wisconsin、US Davis Medical Center、University of Michigan(以上米国)、Royal National Orthopaedics Hospital、Robert Jones & Agnes Hunt Orthopaedic and District Hospital(以上英国)、Royal North Shore Hospital(オーストラリア)などです。

[3] 進路

研修修了医師は、熊本県下はもちろんのこと、全国各地で勤務医や開業医として地域医療に貢献しています。公立病院の院長、副院長、部長、医師会の会長、副会長などの要職を務める医師も多く、さらには、熊本大学以外の教育機関で活躍をしている医師もいます(岡山大学病態探求医学分野教授、慶応義塾大学運動器機能再建・再生学講師、東京慈恵会医科大学スポーツクリニック講師など)。

10. 連絡先

薬師寺俊剛 (熊本大学医学部附属病院整形外科 医局長)

TEL : 096-373-5228 FAX : 096-373-5228 E-mail : seikeigeka@fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp